

2023 年度年次報告書
AI 活用で挑む学問の革新と創成
2022 年度採択研究代表者

原口 大地

九州大学 大学院システム情報科学府
大学院生

ビジュアルデザインインフォマティクスの創出

研究成果の概要

本研究の目的はフォントやロゴ、ポスターなどのビジュアルデザインに対して AI 技術を活用し、デザインの使用傾向を解析することで、デザイナーの暗黙的・経験的知識を定量化および理解することである。

2023 年度は、ビジュアルデザインから抽出された特徴量を基にデザインの使用傾向の解析を行った。具体的には、書籍表紙を対象とし、その書籍表紙に使用される文字デザイン(フォントや文字色など)と書籍ジャンルの解析を行った。これにより、一部のジャンルでは使用される文字デザインに一定の傾向が見られることがわかった。この結果は、デザイナーの経験的知識の理解の一助になったと考えられる。

上述の解析に加えて、フォントのスタイルと印象の解析やフォントのスタイル特徴を活用したフォント生成なども実施した。これらの研究は、ビジュアルデザインのさらなる解析・研究の手掛かりになる重要な知見となった。

【代表的な原著論文情報】

- 1) Daichi Haraguchi, Brian Kenji Iwana, Seiichi Uchida, “What Text Design Characterizes Book Genres?”, arxiv, 2024.